

「市内視察」 10月29日（木）

- デファンス再開発地区（都市デザイン）視察
- 文化公共施設視察

※ 視察の所感

フランスー人口6200万人、22地域県、議会任期6年

パリ市ー特別市、首都圏1200万人、（パリ220万人、山手線内側）

マルセイユ、リオン、ボルドー100万都市

市町村ー36000箇所、市議会任期6年

ドゴール時代都市整備計画1969年、ニュータウン計画、公共事業の共有化
共同体

バルトワーズ県（国民議会5年制、参議員9年制、3年毎3分の1選挙）

有給5週間、ワークセアリング週35時間制を実施

都市圏共同体、県知事は国務省から派遣、日本で言う知事は、フランスの議長
が当たる。



ルーブル美術館



オペラ座

「パリ近郊広域新都市管理組合訪問」 10月30日（金）

- 都市計画制度の概要
- 企業誘致のための新都市開発の経緯と概要
- ビジネスセンター・商業施設建設による職住接近のまちづくりの展開

※ 調査時間 10時から12時

※ 応対者、概要、質疑応答等について セルジーポントワーズ都市圏共同体（フランス広域行政組織担当者デニエス ラマーチさん）

※ 所感

セルジーポントワーズ都市圏共同体は、1965年ドゴール大統領時代、パリ郊外30キロメートルに新しい街づくり計画があり、新しい住居のニーズがあった。5つのニュータウン、パリ郊外8000ヘクタール。

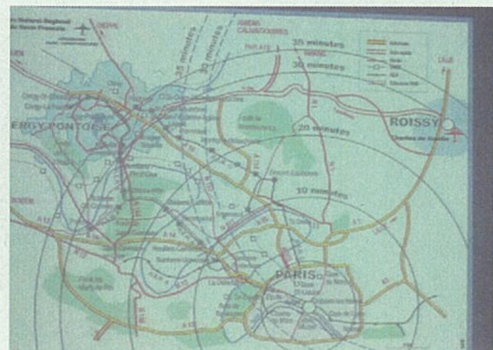
1985年公団成立。パリにも、空港にも30分でいける。自然公園。

12のコンミュン（市町村）が共同体を作り、セルジーポントワールニュータウンを2002年結成。新都市圏共同体となった。

職住いつたいの都市。町の4分の1は緑。年間1000人の人口増。インフラはほぼ完成。今後の課題は、郊外間の交通整備である。



パリ近郊広域新都市管理組合現地調査



事業内容・交通体系



説明を受ける代表団